

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【公開番号】特開2014-138791(P2014-138791A)

【公開日】平成26年7月31日(2014.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2014-041

【出願番号】特願2013-262425(P2013-262425)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月16日(2016.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を司る主制御基板と、

発射可能球数を管理する払出制御基板と、を備え、

所定数の遊技球を内部に封入した循環式遊技機において、

前記主制御基板に、

特別図柄の変動の記憶がなく、且つ、特別図柄が変動中でないことを条件に待機信号を送信する待機信号送信手段を備え、

前記払出制御基板に、

遊技領域への発射球数と遊技領域から排出された排出球数との誤差玉数を演算する誤差玉演算手段と、

遊技終了時の精算を行うために操作する精算スイッチの操作に基づいて遊技球の発射を停止する発射停止手段と、

最後の遊技球の発射からの経過時間を計測するタイマ手段と、

前記精算スイッチが操作され、且つ、前記タイマ手段によって計測された経過時間が所定時間に達することを条件に、前記誤差玉数を機外に送信する誤差玉送信手段と、

該誤差玉数の送信後に、発射可能球数を機外に送信する持球送信手段と、

前記誤差玉数が異常な値になることを条件に、前記持球送信手段による発射可能球数の送信を禁止する送信禁止手段と、

前記発射可能球数の送信を前記待機信号の受信まで遅延する送信遅延手段と、

該遅延中に所定条件が成立することにより、前記精算スイッチの操作に基づく処理をクリアするキャンセル手段と、を備えた

ことを特徴とする循環式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 1 記載の循環式遊技機は、
遊技の進行を司る主制御基板と、
発射可能球数を管理する払出制御基板と、を備え、
所定数の遊技球を内部に封入した循環式遊技機において、
前記主制御基板に、
特別図柄の変動の記憶がなく、且つ、特別図柄が変動中でないことを条件に待機信号を送信する待機信号送信手段を備え、
前記払出制御基板に、
遊技領域への発射球数と遊技領域から排出された排出球数との誤差玉数を演算する誤差玉演算手段と、
遊技終了時の精算を行うために操作する精算スイッチの操作に基づいて遊技球の発射を停止する発射停止手段と、
最後の遊技球の発射からの経過時間を計測するタイマ手段と、
前記精算スイッチが操作され、且つ、前記タイマ手段によって計測された経過時間が所定時間に達することを条件に、前記誤差玉数を機外に送信する誤差玉送信手段と、
該誤差玉数の送信後に、発射可能球数を機外に送信する持球送信手段と、
前記誤差玉数が異常な値になることを条件に、前記持球送信手段による発射可能球数の送信を禁止する送信禁止手段と、
前記発射可能球数の送信を前記待機信号の受信まで遅延する送信遅延手段と、
該遅延中に所定条件が成立することにより、前記精算スイッチの操作に基づく処理をクリアするキャンセル手段と、を備えた
ことを特徴とする循環式遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】